

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成26年9月24日

施設名	高知青少年の家	所管課室	生涯学習課
-----	---------	------	-------

1. 施設の概要

指定管理者名	特定非営利活動法人高知県青年会館
指定期間	平成24年4月1日～27年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町天王北1-14
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成25年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子河口観察教室 ・親子ガサガサ体験教室 ・親子陶芸教室 ・親子ハーブの寄せ植え教室 ・大人のための初心者パソコン教室 ・パソコンで遊ぼう など
施設内容	<p>研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。</p> <p>利用開始日：昭和63年6月1日 施設面積：1,230.39㎡ 建築物：鉄筋コンクリート2階建</p> <p>施設概要： 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室（ホール）</p>
職員体制	職員：所長1名 事務長1名 指導員2名 事務員1名 合計：5名 ※所長・事務長は青少年体育館と兼務

2. 収支の状況

		H24年度(決算)	H25年度(決算)	H26年度(予算)
収入	県支出金	18,987,619	19,017,376	19,510,000
	事業費収入	68,400	59,500	68,000
	収入計 (a)	19,056,019	19,076,876	19,578,000
支出	事業費	462,351	461,923	457,000
	管理運営費	7,890,061	8,244,468	7,708,000
	人件費	9,796,135	9,442,040	9,962,000
	消費税	907,472	928,445	1,451,000
	支出計 (b)	19,056,019	19,076,876	19,578,000
使用料収入		412,710	522,160	525,000

3. 利用実績

(1) 利用団体数

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均
団体数	988	858	811	891	859	881

(2) 利用者数

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均
人数	19,195	16,335	16,073	18,450	15,535	17,118

4. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元の小学生の放課後の居場所づくりの1つとしての「パソコン教室」を実施している。 ○主催事業については、子どもと親が体験的な学習をする中で親子のコミュニケーションづくりが行える親子体験教室の開催など、ターゲットを絞った取り組みをしている。 ○県環境共生課と仁淀川清流保全推進協議会と共催で仁淀川自然体験教室を行い、新しい事業展開に取り組んだ。 ○事業案内のチラシを持参して近隣の学校を訪問し、施設の利用PRをするなど、施設の利用促進に向けて取り組んでいる。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主催事業の全参加者や施設利用団体の代表者に声がけしたり、アンケートをお願いして、施設利用者のニーズ等の把握に努めている。 ○施設内の清掃や交通整理を職員も行き、利用者が気持ちよく利用できるように取り組んでいる。 ○施設利用者への挨拶や丁寧な対応を心がけている。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ローテーション職場であるため、引き継ぎ事項などに抜かりがないように、職員間で声をかけ合い、お互いの業務にこだわらず、助け合いながら連携して日々の業務にあたっている。 ○業務へのやりがいと指導力向上を図るために、指導員が講師となって主催事業を行っている。 ○施設敷地内の草引き等を職員が行うなど、経費節減に努めている。
④利用実績	○平成24年度と比較して、利用団体は32団体の減少、利用者は2,915人の減少となった。
⑤収支の状況	<p>○利用者数は減少したものの、減免額が減少し、平成24年度と比較して使用料収入は109千円の増収となった。</p> <p>○管理代行料は、予算額をほぼ全額執行した。(県に2,624円返還)</p> <p>平成25年度決算額 19,017,376円</p>
総合評価	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者として仕様書どおりの適正な管理が行われている。 ○好評を得ている仁淀川を活用した事業を柱として、主催事業の見直しや、事業実施ノウハウの蓄積、高校(特に工業高校)や大学、ボランティアを活用した事業の開発、職員の資質向上に向けた取り組みを期待する。 ○柱となる仁淀川事業の他、施設長の経験を活かした地域との交流事業の開発を期待する。 ○サービス向上に向け、職員交流や職員研修等を受けれる体制づくりの検討を期待する。 ○指定管理者が運営する隣接の宿泊施設との連携や職員の資質向上に向けた取り組みを進めるとともに、青少年教育施設として担うべき役割を充実していくための方向性を明確に打ち出し、仕様書の内容以上の成果をあげ、より魅力的な施設となることを期待する。

【評価の目安】 A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの